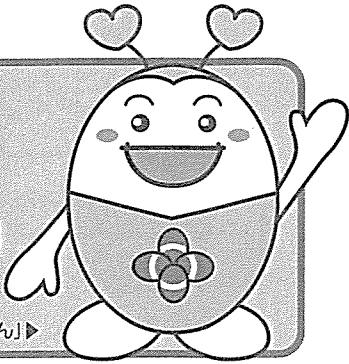


第65号 平成30年3月発行

# ボランティアだより

大分市社会福祉協議会マスコットキャラクター愛称「ふくしのピロロちゃん」▶



## 「支えあって ともに生きる みんなが主役のまちづくり」 平成29年度

### 大分市ボランティアセンター事業のまとめ

大分市ボランティアセンターでは、第4次地域福祉活動計画に基づき、ボランティア活動の振興のため平成29年度に取り組んだ各種事業についてお知らせします。

#### 重点的な取り組み

##### ○福祉教育支援事業

福祉副読本「ふくしの心」を全小学校に配布するとともに、福祉学習講座を37小中学校で開催するなど、児童生徒の福祉への理解を深める教育の支援に取り組みました。



##### ○災害ボランティア育成と登録

大分市地域防災計画に基づき、災害ボランティアの養成講座を2回開催(計272名参加)し、登録拡充を図りました(3月末現在181名)。



#### ボランティア活動に関する相談・支援

○相談対応 「活動したい」「お願いしたい」など、2,091件の窓口・電話相談等に対応しました。

○登録促進 新規に、20グループ392名・個人127名の登録がありました。

(3月末現在、311グループ9,512名・個人324名、合計9,836名)

○活動保険 安心して活動するためのボランティア活動保険を奨励しました。(加入者5,210名)

○活動助成 繙続的な活動を促進するため、活動経費の一部を助成しました。(118グループ)

#### 養成研修事業

○点訳ボランティア養成講座(年10回)・朗読ボランティア養成講座(年45回)

今年も、技術を身につけた修了生たち31名が専門ボランティアとして活動を始めます。

##### ○施設ボランティア体験

ボランティア活動のきっかけづくりに、福祉施設等で体験してもらいました。1年間で619名が体験、そのうち夏休みには489名もの高校生に参加いただきました。

#### その他

・広報誌「ボランティアだより」の発行(年3回)・車いすの貸出(貸出延べ台数467台)



#### 平成29年度 大分市ボランティアセンター運営委員会が開催されました

平成30年3月14日に開催された運営委員会(委員長 大分大学福祉健康科学部長 衣笠一茂氏)では、平成29年度事業報告及び30年度重点的取り組み(案)について、委員の皆様から、地域ボランティアの育成・支援とボランティアセンターの役割などについて活発なご意見をいただきました。今後の取り組みに活かしてまいります。



社会福祉法人  
大分市社会福祉協議会

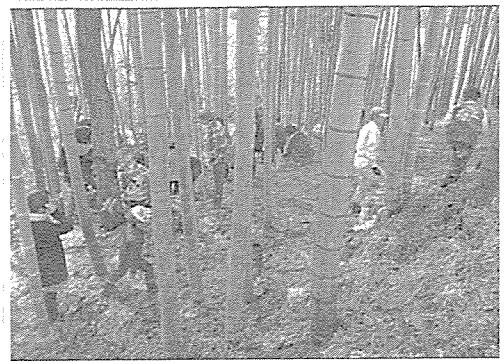
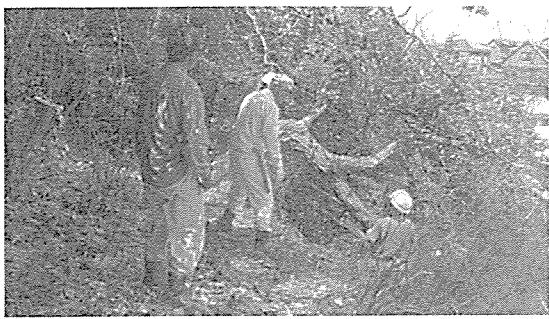
# ボランティアグループの活動紹介

## 特定非営利法人 碧い海の会

碧い海の会では、地球の自然環境を次世代に引き継ぐため、「よい水、よい空気、よい土壌を作ろう！」を合言葉に大分市近郊の森林整備を行っています。また、環境教育、障がい者の自立支援、地域社会の活性化などの諸問題についても積極的に取り組んでいます。

碧い海の会では、活動拠点を大分市竹中（大南地区）、河原内に置いて、森林・竹林の整備活動や炭焼き、廃材を利用した小屋の建設などを行っています。また、当会の活動を生かし、環境教育にも力を入れています。

環境教育としては、竹工作、タケノコ狩り、植林、バードウォッチング、山野草料理各種の炭焼きなどを行っています。



また、障がい者の自立支援の一環として、協働作業、障がい者親子釣り教室なども行っています。そのほか、地域の活性化支援のためにお祭りに参加したり、障がい者施設に炭を提供したりしています。

本会では、会員がほとんど毎日のように活動をしていますので、いつでも見学や体験をすることができます。

代表 田中 新正

## 個人ボランティア(芸能)「ミスター シュガー」

みなさんこんにちは！個人ボランティアのミスター シュガーと申します。臼杵市在住で佐藤のシュガーだけに佐藤です（笑）。子どもが名前を考えてくれました。3年前、地元の子供会で何か子ども達のために出来ないかなあ？と始めた手品がきっかけで、敬老会や福祉施設、各地区的健康サロン等の行事に呼ばれ出演させてもらっています。素人ですので失敗もありますが、笑顔ふれあいをモットーに、趣味ですが真剣に取り組んでいます。



私の演舞の最初は“変面”です。変面とは、古くから中国の四川省に伝わる伝統芸能で、顔につけた面が一瞬で変わる妙技です。その仕掛けは中国の国家機密にも指定され、一子相伝、門外不出と言われています。瞬きをせず顔に注目をしていただき、面の変わる瞬間をどうぞお見逃し無く！その後に皆さんとふれあう面白マジックショーです。笑いあり感動あり摩訶不思議？なミスターシュガーの世界をどうぞお楽しみください♪



佐藤 寛倫

# 平成29年度 朗読ボランティア養成講座の終了 『朗読ボランティアスマイル』結成

平成29年度（第23回）朗読ボランティア養成講座の閉講式が、1月24日（水）にJ:COMホール大分ボランティアルームで大分市視覚障害者協会木村幸二会長を来賓に迎え行われました。昨年9月からともに学んできた24名の皆さんのが、このたび全員終了証を手にされました。

閉講式後には新しく結成するボランティアグループ名を「スマイル」と名付けて、活動することになりました。これまで講師として指導された



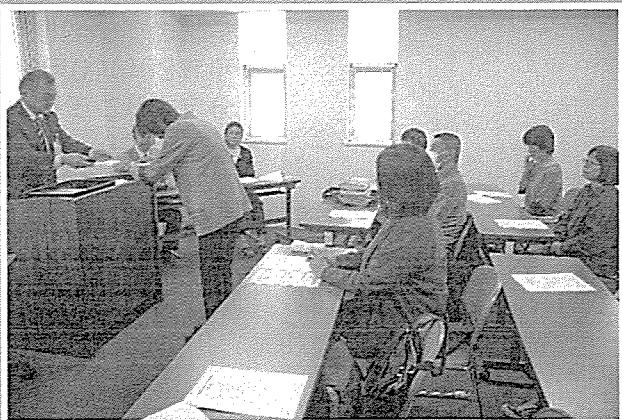
飯塚先生のアドバイスをいただきながら、今後のボランティア活動やスキルアップを図る研修の計画づくりに取りかかりました。

グループの代表者を中心にまとまり、視覚障がい者をはじめ多くの人たちの心を癒し、聞き手から喜ばれる朗読ボランティアを目指して活動の第一歩を踏み出した「スマイル」の皆さんのご活躍を期待しています。

## 平成29年度(第37回)点訳ボランティア養成講座閉講式 ～地道な努力を重ねて～

平成29年4月13日（木）から45回にわたって開催された「点訳ボランティア養成講座」の閉講式が3月15日（木）に行われました。式では、「点訳友の会」の宇佐美早苗会長さんからユーモアのある話とともに、点訳ボランティアを始めようとする受講生の背中を押してくれるようなすばらしい話をいただきました。また、講師の木村幸二先生が受講生一人ひとりにエピソードを交えた、心温まる激励の言葉をいただき、感動とともに7名の修了生は決意を新たにしていました。終了生の会を「スパート」とし、これから点訳に関するボランティア活動を行っていきます。

また、今回の講座で作成した大胡田誠・大石亜矢子（著）の「決断」はホルトホール3階のむくどり文庫にて貸し出されます。



# 皆さんの善意が福祉活動に役立っています 身边なボランティア「収集活動」

「使用済み切手」「書き損じハガキ」の収集は、誰にでも簡単にできる身边なボランティア活動です。家で、職場で、学校で、個人でも仲間と一緒に取り組めます。あなたも始めてみませんか？

大分市ボランティアセンターでは、皆さんから寄せられた使用済み切手や書き損じハガキなどを、ボランティアの方々によって整理していただいた後、視覚障がい者の福祉活動に役立てるため、社会福祉法人大分県盲人協会「愛のともしび運動」へお届けしました。

この活動は、多くの方のご協力によって成り立っています。今後も使用済み切手・書き損じハガキの収集・整理にご協力よろしくお願いいたします。



## 平成29年度協力いただいた皆様

### ○収集ボランティア

ボランティア西の洲、鶴崎校区社協、ボランティア敷戸  
竹内造花店、金池小学校ひしのみ会、戸次豊明クラブ  
挾間小学校、シニアネット大分、東京海上日動火災保険株式会社  
セント・ルカ産婦人科、敷戸ボランティア、極東興和(株)  
大分工場、大分保護観察所、大分県厚生連鶴見病院  
真如苑大分支部、他個人・団体の皆様

### ○使用済み切手整理・分類ボランティア

本郷まり子様、定行真由美様、うさぎの会、その他の皆様



「使用済み切手」の余白は最低1cm残してください

## 赤い羽根共同募金街頭活動 ご協力ありがとうございました!



恒例の赤い羽根共同募金運動の街頭活動が平成29年10月2日から7日まで行われ、大分市ボランティア連絡協議会からも9団体37名の方々にご参加いただきました。



お寄せいただいた浄財は、社会福祉施設の整備や各種福祉事業の充実に役立てられます。

## 2018点字カレンダー 寄贈していただきました

今年も、点訳ボランティア「点訳ともしび」の方から、お一人で一年間かけて手作りされたポケット点字カレンダーを130冊いただきました。

早速、視覚障がいの方や関係機関の窓口にお届けいたしました。ありがとうございました。



## ボランティアだより

(発行元・お問い合わせ)

社会福祉法人 大分市社会福祉協議会 地域福祉課 大分市ボランティアセンター

〒870-0839 大分市金池南1丁目5番1号 J:COMホールトホール大分4階

TEL: (097)547-7419 FAX: (097)547-9559 E-mail: volun@oita-syakyo.jp

開所日時: 月~土曜日 9時~18時 【ただし、第2・4月曜日(祝日の場合は翌日以降の平日)及び祝日、12月28日~1月3日は除く】